

わしょく わがし した えほん ほんがいへん
和食・和菓子に親しむ絵本 番外編

ちい はなし みじか しょうせつ
かずくんの小さなお話（短い小説）

かずくんと

こめ
お米のひみつ

いね か へん
～ 稲刈りとおにぎい編 ～



こ つた わ しょくぶんか わしょく わ がし した えほん
これは、「子どもに伝えたい和の食文化 ～和食・和菓子に親しむ絵本～」

だい だん いねか なか
の第3弾「かずくんと稲刈りとおにぎり」の中で、かずくんとおばあちゃんが、
みの いねか と とき はなし
実った稲を刈り取る時のお話です。

かずくんはおじいちゃん、おばあちゃんのお家に遊びに
き
来ています。

おじいちゃんが育てたお米で作ったおにぎりを
た あと いねか ようす けんがく
食べた後、かずくんは稲刈りの様子を見学しています。

かずくん「すごーい！ あっという間に稲刈りが
できている！」

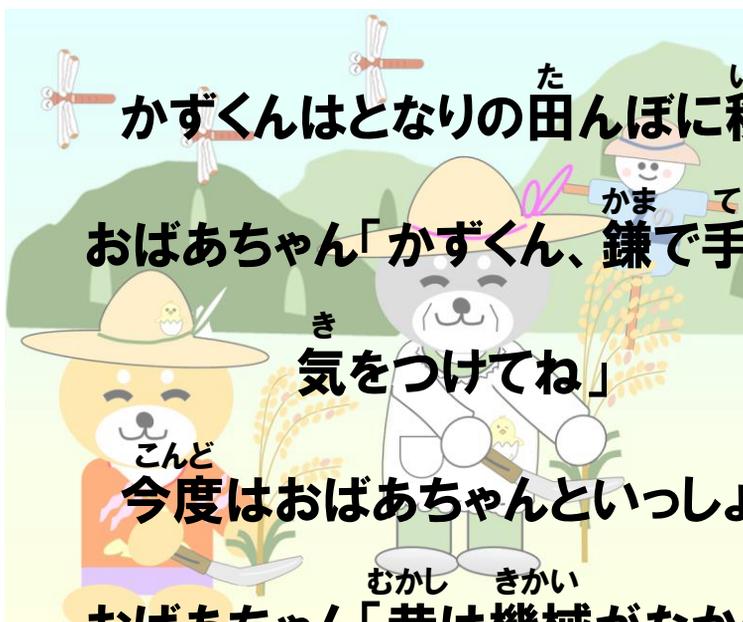
コンバインを操縦しているおじいちゃんは、
とてもかっこよく見えました。

かずくん「コンバインってすごいんだね！」

おじいちゃん「昔は手で稲刈りしていたんだよ。

あと
後でそれもやってみるかい？」

かずくん「うん、やってみたい！」



かずくんはとなりの田んぼに移動しました。

おばあちゃん「かずくん、鎌で手を切らないように

気をつけてね」

今度はおばあちゃんといっしょに手作業で稲刈りです。

おばあちゃん「昔は機械がなかったから、全部こうやって

鎌で刈って収穫していたんだよ」

かずくん「みんな大変だったんだね。ちょっとやっただけ

なのに、もう疲れてきちゃった。

おばあちゃんは大丈夫？」

おばあちゃん「大丈夫だよ、ありがとう。かずくんこそ、

少し休憩していいんだよ」

かずくん「腰が張ってきちゃったけど、でもがんばるよ！」

かずくんはおばあちゃんに教えてもらいながら、

手作業で稲刈りを続けます。

だんだん上手に刈れるようになってきました。

かずくん「ねえ、おばあちゃん。1本の稲穂には、

どれぐらいのお米ができるの？」

おばあちゃん「だいたい50～70粒かな。

100粒ぐらいになることもあるみたいだね。

種の大きさや品種によって違いがあるけど、

1粒からこんなにお米ができるんだよ」

かずくん「お米ってすごいね、たくさんに増えるんだね」

おばあちゃん「それにお米の歴史は古いんだよ。

日本では縄文時代とか弥生時代から

栽培されていたみたいなんだよ」

かずくん「お米はお金の代わりだったというのも本当？」

おばあちゃん「本当だよ。お侍さんたちの給料も

お米でもらっていたんだよ」

かずくんはお侍さんの姿を思い浮かべていました。



かずくん「お米こめっておいしいよね！」

おばあちゃん「おいしいだけでなく、栄養えいようも豊富ほうふで、

バランスよく含まふくれているんだよ」

かずくん「お米こめだけで栄養えいようが全部ぜんぶとれるの？」

おばあちゃん「お米こめだけでは足りたりない栄養えいようもあるよ。

だからおみそしるを飲のんだり、ほかのおかずを

食たべることで、バランスのいい食しょくじ事に

なるんだよ」

かずくん「食しょくじ事たいせつって大切なんだね」

おばあちゃん「食しょくじ事えいようで栄養をとることはもちろん

大切たいせつだけど、おいしく食たべたいよね」

かずくん「だからお米こめの料理りょうりだけでもおにぎりや雑炊ぞうすい、

炊たき込みごはん、どんぶり物ものとか

いろんな種類しゅるいがあるのかな？」

おばあちゃん「たくさんひとの人が工夫くふうしてきたんだね」

かずくんは授業で聞いたことわざを思い出しました。

かずくん「ねえおばあちゃん。先生が言っていたんだけど、

『実るほど頭を垂れる稲穂かな』ってどういう

意味なの？」

おばあちゃん「稲穂ってお米が大きくなってくると重みで

穂先が垂れ下がってくるよね」

かずくん「うん。おじぎしているみたいだよね」

おばあちゃん「その稲穂の様子から、『本当に偉くなれば

なるほど、謙虚で丁寧に人と接することが

大切だよ』と考えているんだよ」

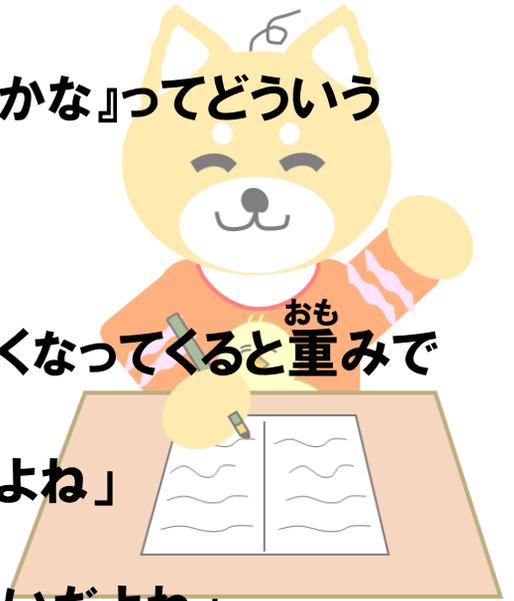
かずくん「ちょっと難しいけど、ことわざはしっかり

覚えておくれ」

おばあちゃん「かずくんが稲穂みたいなお兄ちゃんに

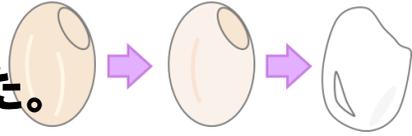
なってくれるとうれしいな」

かずくん「うん、がんばるね！」



かずくんは、おばあちゃんと一緒に^{いっしょ}稲刈りをしながら、^{いねか}

^{こめ}お米についてたくさんのおそ^{おそ}のこを教わりました。



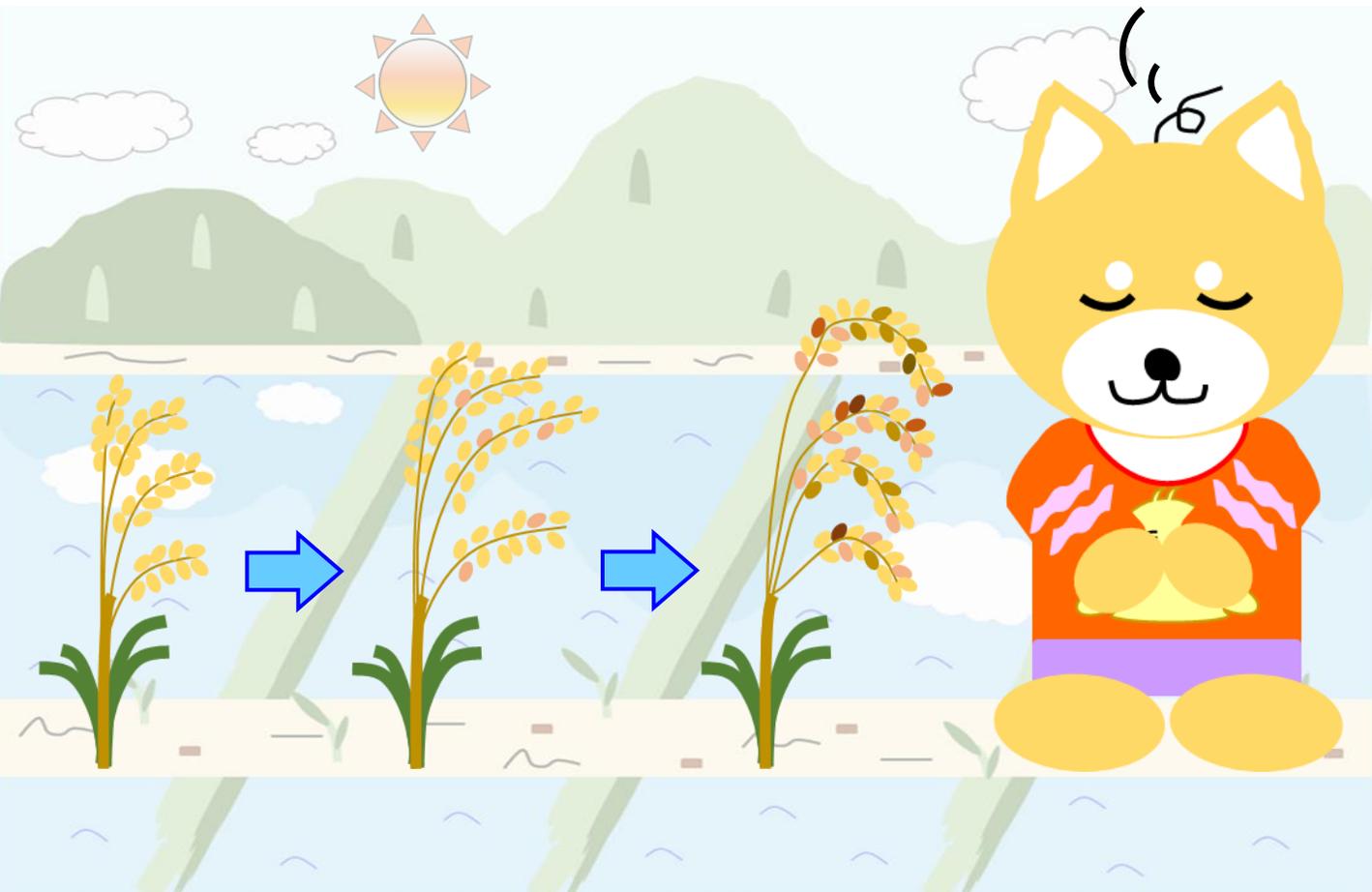
きっと、これから^た食べるごはんは、^{いま}今までよりおいしく

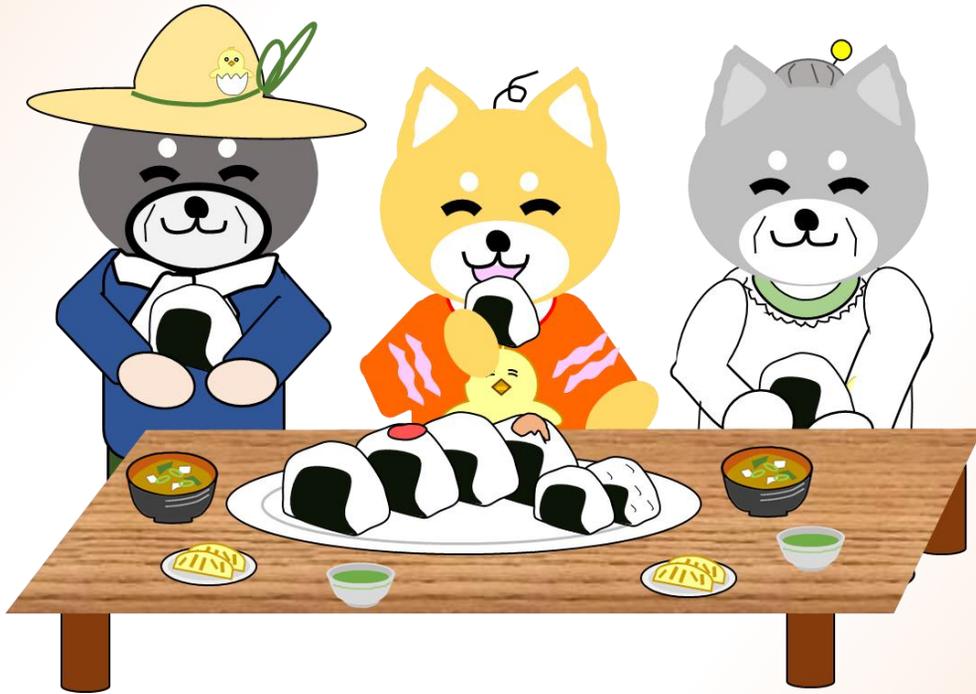
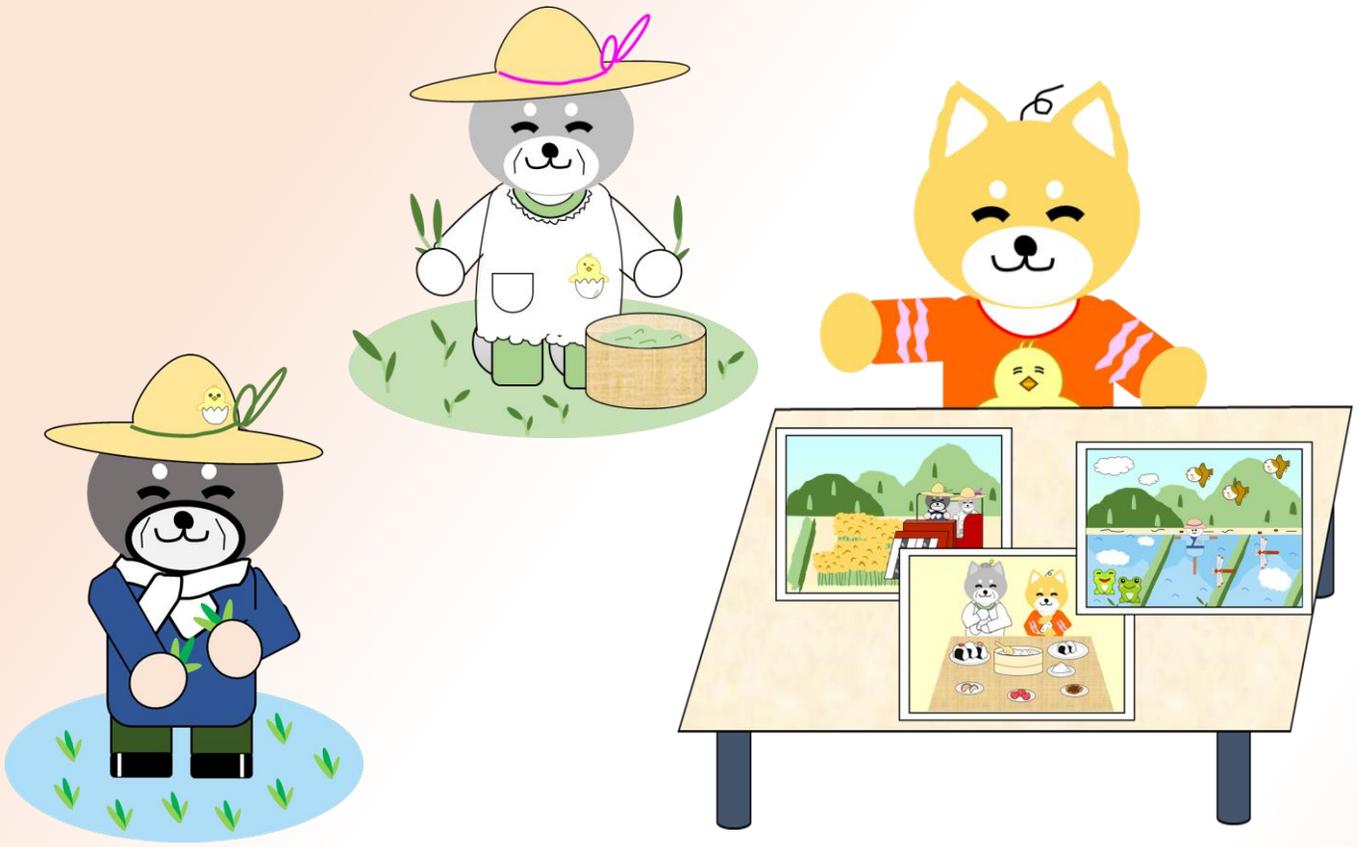
^{かん}感じることでしょう。

～ おしまい ～

^{えほん}（絵本「かずくんと稲刈りとおにぎりと」^{いねか}

^め ^{つづ}9ページ目に続く）





農林水産省東海農政局
経営・事業支援部
食品企業課



令和6年7月